

町長あいさつ

誰もが自分らしく高齢期を楽しめるまちづくり

精華町長 杉浦 正省

新年明けましておめでとうございます。

皆さま方におかれましては、ご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。旧年中は、町行政の推進に、格段のご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。また、昨年は精華町の新型コロナワクチン集団接種事業にも、ご協力をいただき重ねて御礼申し上げます。

一昨年からのコロナ禍は、私達の生活や社会活動に大きな影響を及ぼし、社会全体が「ウィズコロナ」時代への変革を求められております。こうしたなか、前田理事長をはじめ、役職員と会員の皆様におかれましても、感染防止対策を講じ、就業事業、普及啓発活動、地域活動、文化教養活動などの各種事業に取り組んでおられますことに、深く敬意を表するところでございます。

さて、精華町では、令和3年3月に「精華町第9次高齢者保健福祉計画」を策定し、高齢者が生きがいをもち安心して暮らせる環境を実現するため、事業を実施しています。計画のなかで「誰もが自分らしく高齢

期を楽しめるまち」を掲げていることから、働く場や社会参加等の機会づくりに取り組むシルバー人材センターの活動は、計画の推進にもたいへん重要な役割を担っていただけるものと考えており、精華町としても貴センターの皆様と連携し、円滑に運営できるよう支援してまいりたいと考えております。



結びに、長期化するコロナ禍の影響など厳しい社会環境の中ではありますが、会員の皆様におかれましては、健康に十分に気を付けていただき、「人生100年時代」を元気でいきいき活躍していただくために、諸事業のさらなる充実をめざしていただくとともに、公益社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご隆盛を衷心よりご祈念申し上げまして、新年のあいさつとさせていただきます。

理事会等のうごき

令和3年度 第4回理事会 令和3年11月26日(金)

第13号議案 令和3年度第2次収支補正予算について

第14号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター嘱託職員取扱要綱の一部改正について

第15号議案 公益社団法人精華町シルバー人材センター非常勤職員取扱要綱の一部改正について

全議案を可決しました。

表紙のひとつと「世界一の大きさの文字盤の日時計」



けいはんなプラザには、大きな日時計があります。その文字盤は、平成5年8月にギネスブックにより世界一の大きさに認定されました。夜には北極星に向かってレーザー光線が照射されているその姿は日常の風景に溶け込んでいますが、どうしてここに日時計が？ということで調べました。「モニュメントを含む広場」国際設計競技に於いて選ばれたもの、というところから興味深く資料を読みました。日時計の針の根本付近に説明板が設置されています、その設計主旨『日時計を含む前面広場について』を紹介します。

この地球で私たちが立っている地面は、決して平面ではありません。そのため私たちは、同じ太陽をそれぞれ違った角度から見ているのです。このように、同じ地球にいながら、私たちは、夫々の立場に立って、夫々の見方をしながら、夫々の時間を生きているのです。この広場は、こうしたことを皆さん自身が体験し、感じてもらうためのものです。ここでは、皆さんが今立っている「けいはんな」の地面の上に、九州の西端(佐世保)と本州の東端(宮古)の地面を重ね合せています。そのため、この広場の夫々の地面から見た太陽の角度は、現地と同じになり日時計の針の影も、夫々の地面で、その地点の時刻(=地方時)を示しています。あわせて3つの地面に共通の時刻(日本標準時)が相互の差の接点になっていることがわかります。このように、日本国内でもこれだけの違いがありながら、私たちは、一つの軸(=地軸)を中心に回っているのです。この「けいはんなプラザ」が軸となり、世界の人々が、違いは違いとして認めあいながら、様々な交流を通じて相互に理解し合い、文化・学術研究がさらに発展するように願っています。(設計者: 箕原真) ※広場の3つの地面、A・けいはんな/水平面(一番大きな全体の盤面) B・佐世保(針の東側の小さな盤面) C・宮古(針の西側の小さな盤面)

写真撮影: 清水泰律 <場所: けいはんなプラザ(精華町光台) 撮影日: 2021/11/16>